

**平成29年度第9回教育委員会議決事項報告等(11月28日開催)**

- ①平成29年度教育予算(12月議会云補正)
  - ②平成28年度教育委員会事務事業点検・評価報告について
  - ③安平町子ども文化・スポーツ賞被表彰者(前期)の決定について
  - ④安平町公民館条例の一部を改正する条例の制定について
- ※第10回教育委員会(12月26日開催)については、次号でお知らせします。  
また、教育委員会とはどなたでも傍聴できます。詳しくは教育委員会事務局まで。

～郷土史つづり～  
その⑤「石炭ストーブ」

文責：郷土史マスター  
川内 つづり



郷土史で、豊富な木材資源が町の発展を支えて来たことは、これまでに触れてきましたが、もう一つ開拓のきっかけには、室蘭と岩見沢の間に敷かれた炭鉱鉄道とその駅が出来たことがあります。明治から盛んに炭鉱が開発されて、かつて北海道の石炭資源は、日本の資源として無くてはならないものであり、戦後の復興も支えました。昭和30年代生まれの私が育った家では、当時薪ストーブと石炭ストーブがありました。裏庭に薪が積まれていて、また石炭小屋もありました。雪が降る前に小屋の中には約2メートルの高さまで石炭が積まれていた記憶があります。小屋の石炭をスコップで木の箱に入れて家の中に運ぶのが日課で、鋳物で出来たストーブにジョンバという先が四角いシャベルで石炭をすくってくべました(入れました)。デレキという鉄のカギ棒のようなものを使って、ロストルという灰を下に落とすためのものを動かしたり、丸い窓を回して開け閉めして、小学生の頃からストーブの火加減などを自在にしていました。当時小学校の各教室には『だるまストーブ』があって、職員室の裏庭にある石炭小屋から、日直が石炭を教室に運んだものでした。鉄道駅も『だるまストーブ』を囲んで列車を待つ人がたくさん座っていました。後に『ルンペンストーブ』という簡型ストーブで、石炭を詰めて半日燃える便利なものが普及しました。昭和45年頃には石油が輸入され始めて、今では主流の石油ストーブに変わっていきました。母がその頃よく言っていました、「薪や石炭のあったまりとは違う。」つまり昔の方が良かったと。近年では、薪ストーブを楽しむ家もあるようですね。寒さ厳しい冬を暖かく過ごすとともに、限りある資源の有難さを感じたいものですね。

**公民館図書室 新刊のご案内**

新しい本がたくさん入りました!! 早来・追分どちらの公民館の本でも借りることができます。ぜひ図書室へお越しください。リクエストもお待ちしています。

**【早来公民館】**

〈一般書〉生きていくあなたへ 105歳どうしても残したかった言葉(日野原 重明) / 図解食べても食べても太らない法(菊池 真由子) / 大谷翔平 日本の野球を変えた二刀流(小関 順二) / 西郷どん 上・中・下(林 真理子) / 孤軍 越境捜査(笹本 稜平)

〈児童書〉はじめての子ども将棋 まんがイラストでよくわかる!(羽生 善治) / 百人一首壮麗図鑑(岡島 慎二) / ざんねんな偉人伝 それでも愛すべき人々(真山 知幸) / 仰天!感動!サッカーヒーロー-超百科 日本編(オグマナオトほか) / いっぴきののねずみ しかけうたえほん(はら ちえこ)

**【追分公民館】**

〈一般書〉世代の痛み 団塊ジュニアから団塊への質問状(上野 千鶴子、雨宮 処凛) / はじまりは愛着から 人を信じ、自分を信じる子どもに(佐々木 正美) / いちまいの絵 生きているうちに見るべき名画(原田 マハ) / 騙し絵の牙(塩田 武士) / なでし子物語(伊吹 有喜)

〈児童書〉イシ 二つの世界に生きたインディアンの物語(シオドーラ・クローバー) / 未知の動物の事件ファイル おそいかかる! 謎のモンスター(並木 伸一郎) / ともだちのときちゃん(岩瀬 成子) / にんじんだいこんごぼう 日本の昔話より(植垣 歩子) / おちあのじかんにきたとら(ジユディス・カー)

**図書室開室日 火～日曜日 9時～17時**

※他にもたくさん本を揃えています。ぜひご利用ください。



**今月の展示テーマ**  
「おとなになるって、どんなこと」

1月8日は、「成人の日」です。成人の日は「おとなになったことを自覚し、自ら生き抜こうとする青年を祝いはげます日」と法律で定められています。さて「おとな」とは? 新明解国語辞典によると「一人前に成人した人。(自分の置かれている立場の自覚や自活能力を持ち、社会の裏表も少しずつ分りかけて来た意味で言う)」のことだとか。この定義以外でもおとならしいと思える本を展示できたら、と思います。児童の皆さんには、冬休みに役立ちそうな自由研究や工作、冬の絵本や物語を展示します。ご利用をお待ちしています。